

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連  (北関東)	良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前年比で客数が108%、売上が107%と好調である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・戸建住宅部門の販売は、現行の消費税が適用される9月末の契約期限まで3か月となり、約2割増で好調に推移している。アパート、店舗部門も引き続き好調で、上期全体の受注も2～3割増を予定している。
	やや良く なっている	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・客の購買意欲が少しずつ上がってきているように感じる。客からの電話も増えてきている。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・高額品が売れている。美術品、焼き物が好調に動いている。
		百貨店（店長）	お客様の様子	・4日からバーゲンを始めたが、ポイント倍付けの効果もあり、ファッション関係は前年をクリアし、ポイント倍付けの無い翌週末も前年をクリアした。他店でもバーゲン実績は良いという情報である。ボーナス支給後の贈答品の販売に関しても、第1週、第2週の週末共に売上が良かった。
		スーパー（経営企画担当）	単価の動き	・1品単価が、3か月前、1年前と比較してわずかながら上昇している。他社も同様の傾向だということである。
		スーパー（商品部担当）	来客数の動き	・来客数が回復し、客単価も上昇傾向にある。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年と比べ、雑誌、たばこの落ち込みが大きい。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年に比べ梅雨明けが早かったということで、今月は飲み物やアイスクリームといった商品がかなり売れている。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・天候の要因で今月は季節商材が伸び悩んだが、主要商品のテレビ、パソコン、エアコンなどの単価は上がっている。4K仕様の大型テレビが好調、新OSでパソコンの買換えが進み、省エネ仕様のエアコンが動いている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・特に良い理由は何もないが、売上が極めて少なかった3か月前と比べるとやや良くなっている。
		住関連専門店（経営者）	単価の動き	・売上高を構成する商品群は、従来は低価格志向の商品で、しかも消耗品がほとんどを占めていたが、高付加価値商品に手が伸びるようになってきている。また、客1人当たりの買上単価も上昇してきている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・若い人中心なので、客単価は上がってこないが、来客数は多少戻ってきたようである。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・ある旅行会社から今夏の国内旅行は好調という話をよく聞くが、地域により非常に偏りがあると感じている。先月、今月の来客数から景気が良くなったと感じるほどでないことも事実である。逆に、前年より数字が悪くなっている。8月に期待している。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・夏休みに入り、子供がいる家庭ではどこかに行こうということで、客がかなり動き出している。アベノミクスの効果もあるようである。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・梅雨明け後、例年以上の暑さが続き、クーラーや扇風機などの猛暑対策で消費が高まっている。
		その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	来客数の動き	・当店の来客数、売上はここ数週間で上がってきている。ただし、社会全体でいうと何とも言えない状況にある。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・安売りチェーンの薬局でヘアカラー薬剤を購入し、自宅で染めている人が増え、少しずつ店のヘアカラーの売上が下がってきている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・季節要因も一部にはあるものの、問い合わせの電話が増加している。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・消費税増税の時限措置期間の9月末までは顧客の動きがあると思われる。
変わらない	商店街（代表者）	販売量の動き	・梅雨とはいえ7日の七夕までは気候も安定していて、来客、売上共に先行き明るい感じだったが、梅雨明け後の猛暑で途端に客足が途絶え、前年並みがやっとなった。	
	商店街（代表者）	来客数の動き	・小売店も卸売も来客数が減少し、非常に困惑している。今月も大型店開店の大きなチラシが入り、ますます来客数が減って困っている。	

一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は七夕祭りが行われて最高の人出があった。しかし、その後は人出が少なくなり、人の動きはない。食品はどうか動いているが、その他の物は動いていない。夏物の買物も大型店でしているようなので、一般店はあまり関係がない。
一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・必要な物は必要な時に購入するパターンが定着してきていて、販売側の仕掛けにはなかなか乗ってこないが、先々を見通してかエコ商品の購入が増えてきているので、多少の単価上昇にはなっている。
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・お中元は前年並みの結果であった。夏期賞与支給後の動きも特に見られず、景気は依然低迷している。
スーパー（店長）	単価の動き	・いまだに単価の変化がない。
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・衣料品、住まいの品、食品品の売上は前月同様上がっていない。前年比でも100%弱の金額である。商品の売上平均単価は前年より若干上がっている。
スーパー（統括）	来客数の動き	・これまでの経験から選挙のある年にギフト需要は落ち込むのが通例だが、今年のお中元は中旬まで既存店で前年同期比110%と非常に好調で、野菜価格の高騰もあったが、既存店の食品関連の売上高、来客数共に前年同期を上回る推移となっている。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・天気によって客数が極端に乱高下するような状況になっており、売上も若干下がり気味なので、以前と比べるとやや悪化傾向にある。時期的にはもう少し上がってもよいので、難しいところだが、大きくは変わらない。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・景気回復への期待感も一時は高まったものの、ガソリンを含め、多くの品目の値上がりで一般の生活者にはマイナスとなっているため、購買意欲も足踏み状態である。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・当地の大手メーカーは創業以来の忙しさで、第一次下請まではそこそこに忙しく、売上高、利益共に良いようである。二次下請も先月よりは少し内容が改善されたようであるが、三次下請以下はただ忙しいだけで先行きに希望を持ちがたい様子である。困るのは市民の購買意欲の低さである。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・低価格の中古車を求める客がまだ多い。
乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・ここ2～3か月は同じような状況が続いている。販売量もさることながら、新車、中古車問わずとにかく単価の安い車がほどほど出る一方、輸入車の新車、中古車は全く動かないという状況は変わらない。
乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・3か月前との比較では同等のような気がする。
住関連専門店（店長）	販売量の動き	・来客数及び買上点数が前年を下回っている。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・ランチの客数は変わらないが、ディナー客がやはり減っている。必然的に売上も伸び悩んでいる。
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・地元での祭りやイベント時にはかなりの人出があるが、普段の動きは大変悪い。消費する場を絞って回数を減らしているようである。
スナック（経営者）	お客様の様子	・3か月前は歓送迎会等もあり、客が多かったが、それと変わらないくらい客が入っている。
スナック（経営者）	競争相手の様子	・景気はあまり良くなっていない。競争相手の数も増えている。客の様子や来客の動きを見ても、あまり先が見えない状態である。
観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・夏の行楽シーズンを迎え、総体的に来客数は増えているものの、客単価に変動はない。
観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・7月当初の売上は非常に悪かったが、上旬の猛暑で避暑に動く客が多くなり、前年並みまで回復している。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・現在のところ、例年に比べて良いとも悪いとも言えない数字が続いている。
都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・当県では大企業には良いところもあるが、中小企業はやはりまだ相変わらず不景気な状態が続いている。
都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・県北と県南でビジネスホテルを運営している。先月までは販売量に良い兆しが見えはじめていたが、今月は一段落してどちらかというやや販売量が落ちた感がある。販売量、稼働率から判断して、変わらない状況である。

旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・受注に関しては、昨年と比べて大きな変動はなく、客の様子や成約状況は変わらない。また、Web予約が浸透しているので、予約の発生が遅く、成約に至らないことが多い。団体についても大きな動きはない。式年遷宮があるため、伊勢方面の集客と東北方面は好調である。	
旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・選挙のある月は旅行需要が伸び悩む傾向である。	
通信会社（経営者）	お客様の様子	・相変わらず解約や休止が減らない。	
通信会社（局長）	販売量の動き	・3か月前と比べ販売数量が伸び悩んでいる。季節柄、猛暑下での商談に顧客の集中力は散漫になり、販売に苦戦している。	
テーマパーク（職員）	来客数の動き	・梅雨明けしたにもかかわらず、梅雨空の冷夏であるために来園者が伸びていない。	
遊園地（職員）	来客数の動き	・3か月前と比較して、来客数に大きな変化は見られない。	
ゴルフ場（支配人）	単価の動き	・種々の施策によって来場者及び売上は増加した。しかし、客単価は低下する一方である。	
競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共にそれほど変化が見られない。	
その他サービス [立体駐車場] (従業員)	来客数の動き	・単価、来客数共に横ばいで、変わらない。	
その他サービス [イベント企画] (職員)	お客様の様子	・人の流れは依然として少ない。	
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・仕事量は変わらず入っている。	
設計事務所（所長）	来客数の動き	・来客数は3か月前とさほど変わらないが、打ち合わせの内容がかなり詰まってきたので、今後に期待したい。	
住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・地方では相変わらず景気の良さは全く感じられない。逆に不動産は売り物件が多く、まだ多少下落しているような感じである。当地域でも世代交代に伴い、高齢者は土地を売ってお金にしたほうがよいと考えているためか、売り物件は多くなっている。また、貸店舗等も同様に、高齢者の増加で店じまいし、シャッターを閉めるところが増えてきている。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・天候が不順で、特に客足の伸びる夕方豪雨には閉口している。当市の一大イベントである夏祭りも雨にたたられ、商店街に人が歩いていなかった。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・毎年この時期には登山、キャンプ用品、学校や店頭での水着販売があるが、今年は前年と比べ、かなり売上が落ちている。客も必要以上の物は買わないという感じを受けている。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・選挙や暑さを理由にしたくないが、日中の人出が悪すぎる。
	一般小売店[青果]（店長）	お客様の様子	・来店数はもちろん少ないが、買上も単品のみで本当に必要な物だけを買うという感じである。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・夏物クリアランスセールは、開始日の分散化により総じて盛り上がり感が希薄で、売上減となっている。中元商戦は前年をやや下回る結果となり、店全体では前年割れとなる見通しで、3か月前と比べるとやや下向きの内容である。
	百貨店（店長）	販売量の動き	・7月は参議院選挙に加えて、天候不順、不安定な株価などが購買意欲を鈍化させているように感じられる。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・今夏は夏らしい暑い日が続かない。本来売れるべき商材が売れていないので、売上は期待通りになっていない。そこに電気料金の上昇などがあり、経営環境は厳しい。
	衣料品専門店（販売担当）	お客様の様子	・来店客も減っているが、来店した客も身の回りの物の値上がりに影響を受けており、当店で買物をする気になれないといった意気消沈した雰囲気である。その上、今月は参議院選挙が追い打ちをかけて本当に悪い。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・主力車の切替え時期のため、受注が止まっている。

		乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・第2四半期の販売台数は9%の減少になっている。車種もコンパクトカーのため、収益は前年比で15%減少している。
		乗用車販売店 (店長)	来客数の動き	・この暑さで来客数が少ないのかもしれないが、前月に比べても減ってきている。
		高級レストラン (店長)	販売量の動き	・日中は連日の猛暑続きで外出する人が極端に少なく、前年比で売上が20%近く落ち込んでいる。
		一般レストラン (経営者)	それ以外	・売上は前年同月と変わらないものの、さらなる仕入原価の高騰により、即価格の見直しはできず様子を見ながらという状況なので、仕入と売上のバランスが非常に悪くなっている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・猛暑と長雨で客の動きがなく、宴会も夏場で少なかったため、全体的に低調であった。
		旅行代理店(所長)	来客数の動き	・夏休み当初はどうしても客の動きが海方面になるため、比較すると弱いのが通例であるが、それにしても今夏の状況は例年に比べて悪い。富士山の世界遺産登録なども影響していることは否めない。
		旅行代理店(従業員)	単価の動き	・円安の影響により申込数が減っている。
		タクシー(経営者)	お客様の様子	・不景気感があり、動きが悪く、前年同月と比べて8%の減少である。
		通信会社(経営者)	単価の動き	・円安、原油高騰、中東情勢不安などから、LPガスの仕入価格の高止まり状態が続いているが、競争が激しいため売価に転嫁できない。
		設計事務所(所長)	来客数の動き	・参議院選挙もあり、何か一段落した感じで、今月はほとんど情報がなかった。
	悪くなっている	一般小売店[衣料](経営者)	販売量の動き	・毎年のことだが、夏は商店街の抽選大売出しがあり、現在売り出し中だが、チラシを配ってそういうイベントが行われていても売上は思うように増えていない。当地に来る観光客は外国人が多いが、外国人客の買物も少ない。
		スーパー(経営者)	競争相手の様子	・競合店の出店で競争が激化している。
		住関連専門店(仕入担当)	来客数の動き	・夏物商材の動きが鈍く、大きく前年を下回っている。来客数も前年を割り込んでおり、夏物以外の商材の動きも悪い。
		一般レストラン(経営者)	来客数の動き	・夜6時以降の来客数が激減している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は非常に暑い日が続いたが、タクシーを利用する人は少ない。また、出張で地方へ来る人も少なく、これもまた減収の要因の一つではないかと思う。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・新たな戦略のもとで営業を強化し、徹底的に攻め込むものの、販売量にはさほど影響しておらず、依然、一般からの受注は冷え込んでいる。地域の中小零細企業や商店は、相変わらず東日本大震災の影響を受け続けている。
企業動向関連 (北関東)	良くなっている	その他製造業[環境機器](経営者)	受注価格や販売価格の動き	・環境装置(スプレー缶、エアゾール缶、ライター等の処理装置)のメンテナンス付きリース契約をしているが、自治体中心にプラントメーカー経由の販売に加え、大手産業廃棄物事業者からのオファーが増え、商談が進んでいる。
	やや良くなっている	食料品製造業(製造担当)	受注量や販売量の動き	・スーパー向けの売上はほぼ横ばい傾向にある。店売りの客が徐々に増えてきている分は良くなっている。
		食料品製造業(営業統括)	受注量や販売量の動き	・円安が定着しつつあり、国産100%の商品に人気に移りつつある。地場ワインメーカーにとっては順調に売行きが伸びている。
		一般機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・依然として全体の動きは鈍いものの、近隣自動車メーカーの受注増や航空関連メーカーの3割増産など、個別ではあるが明るい動きも顕著になってきている。また、ポリウムは多くないが新規案件の引き合いも増えてきている。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・取引先からの新機種受注に関わる問題点を少しずつクリアし、生産が順調になってきている。
		輸送用機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・7、8月は仕事量が若干増えているような感じである。取引先も若干少ない取引先もあるが、非常に忙しいところもある。
		建設業(総務担当)	取引先の様子	・全体的な工事は、前年度に比べても多くなっているように感じる。また、材料の商社の営業と話しているも、材料の出荷量等が増えてきたということなので、間違いなく増えてきているようである。

	金融業（調査担当）	取引先の様子	・県内企業の景況感は大きく改善しており、特に非製造業が先行している。ただし、企業の景況感格差は拡大している。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・富士山の世界遺産登録により客足が増えている。前年との比較でも増加しており、良くなっている。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・9月末に向け、受注量、販売量共に増加傾向にある。ただし、一時的なものか今後も続くのかは不明であり、もう少し推移を見守る必要がある。
変わらない	化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・電気料金は前年からだが、石油関連製品、その他、すべての原材料がここにきて強硬な値上がり状態になってきている。
	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に低迷したままである。
	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・復興需要がまだ続くとみて、特装車両はフル生産を続けている。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・注文量が少なく、仕事がなくて困っている。
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・当社はものづくりの中小企業であるが、大企業は海外で生産し、国内の中小企業に注文は出していない。そのため、当社の注文量は増えていない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・絶対調である県内の大手自動車メーカーから受注し、潤っている会社が周辺にはごく一部あるが、当社はその仕事がないのでかなりひどくなっている。円安になってもまだ、中国等外国での生産に回ってしまうので、中小製造業の状況はかなり厳しい。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今月になって受注量が若干減ってきている。加えて燃料代、電気代や素材価格も上がってきているので、収益的にも非常に厳しくなりつつある。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・展示会を開催したが、全体の売上は前年並みか多少プラスにはなるものの、来客数が減少している。また、低価格品や中級品の売上も伸びず、一部上顧客に頼る不安定な状況が続いている。
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今年は例年より梅雨明けが早く暑い日も続いているため、特に飲料水や夏場家電、扇風機及び清涼グッズ、ひんやりマットなどの輸送量の物量が良好に増えている状況である。一方で雨量が少なく、暑さと水不足で露地野菜などの育ちが悪いため、キャベツ等の出荷量が減っており、形も小ぶりです予想より量が落ち込んでいる。
	金融業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・建設業での公共工事の増加、大手自動車メーカー関連の受注増など、一部に仕事が増えている企業はあるが、それ以外の業種は変わっていない。
	不動産業（管理担当）	取引先の様子	・当社が作業を委託している協力会社に聞いたところ、業務を請負う際の顧客からの要望は「安いこと」がまず第一で、余計な作業はせずに安くせざるを得ないので仕方なくそれなりの品質で仕事をしていることが多い、とのことである。当社が請ける場合も「安さ」が第一というのは同じである。業務量が同じならば必然的に売上は減少する。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・百貨店や小売店の話を見ると、早い梅雨明けで冷感商品の売行きが好調とのことである。チラシ出稿量は103.2%と9か月ぶりに前年を上回ったが、参議院選挙の関係で入った分があるからで、それを除くと大手家電量販店が新規出店した分があるものの前年に及ばなかった。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・大手企業や輸出関連の主要企業などに見られる好況感は、地域の中小企業では実感としてもほとんど感じられず、景気をけん引する材料が見当たらない状況である。相変わらず設備投資も個人消費も目覚ましい変化が見えない。
	司法書士	受注量や販売量の動き	・このところあまり変わっていない。悪くはなっていないが、良いとも言えない。以前と比べればやや良くなっている。
社会保険労務士	取引先の様子	・売上は落ち込んでいないが、伸びてもいない。材料に輸入品を使用している商品を扱っている事業所は多少厳しくなっている。	
やや悪くなっている	プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月、来月と受注量が非常に少なくなっている。

		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・開店休業の状態は当分続きそうであるが、現政権への期待感は大い。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・安定した仕事は取れない。資材も高くなっていて厳しさは変わらない。
		不動産業（経営者）	それ以外	・消費を極力抑える客と積極的な客に分かれているようで、人数的には消極的な客が多いようである。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・小売店、飲食店などは来客数が減っており、広告宣伝に積極的ではない。
	悪くなっている	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事の受注はあるものの指名競争で、最低価格の同額入札、数社によるくじ引きのため、受注するのは厳しい。民間工事は相変わらず物件が少なく、こちらも厳しい状況である。現在の受注額は前年比10%減である。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(北関東)	やや良くなっている	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・自動車や携帯関連の細かい部品の製造関係にかなり活発さが出ている。住宅関連については一進一退でさほど動きがなく、募集傾向もごくわずかである。ちょうど夏休みに入った時期でもあるので、販売についてはアルバイト等の求人が多かった。依然としてガソリン価格が上がっているため、採算が合うかどうか気がなるところである。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・取引先のホテル、旅館等の稼働率が若干上がってきている。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・部品を含む自動車関連と食品関連（麺類）の求人が多くなっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数共に増加している。新規求職者数、有効求職者数は共に減少している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・徐々にではあるが求人数が増加傾向にあることから景気は上向きと判断している。しかし、一部の業種や零細企業において景気回復の波に乗ることができないのも現状である。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・景気が良いような話を聞くが、今のところ仕事の状況はあまり変わらず、売上も伸びていない。
		求人情報誌制作会社（経営者）	周辺企業の様子	・周辺ではまだ景気上昇に向かっていている企業はごく一部であり、全般的には良くなっていない。求人数はこれまでとあまり変わらず、季節的に夏の期間はパート、アルバイトの募集は若干増えている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求人数は前年同月比で4月が8.6%、5月12.7%減少しており、6月は19.2%増加となったが、お中元の期間限定での求人が100件近くあったことが要因である。管内主要企業及び関連企業での早期退職が昨年12～3月にかけて実施されており、その後4～6月にかけて更に追加で実施、県北地区での早期退職者は640名程度になっている。このような状況から、4、5月と増加していた新規求職者は6月も前年同月比で2.6%増となっており、依然厳しい状況である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人、新規求職共に微増、微減の範囲で推移しており、若干の停滞感がある。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人はやや増えつつあるが、正社員採用は大変厳しく、直近の人手不足に対応するパート系の求人が目立つ。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・パート職員の求人などは結構見られるが、正社員求人になると特定の職種に偏りがあるように感じる。会社説明会などに参加しても、採用までのハードルは高い。企業側として採用人数と学生の能力はまだ絞られているように感じる。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・正規、非正規雇用などにおける雇用問題が解決されておらず、先行きが不透明である。
	悪くなっている	-	-	-